

「食・農・村の復興支援プロジェクト活動報告会

**～キリングループが取り組む～
「復興応援 キリン絆プロジェクト」について**

キリン株式会社 CSV推進部 部長

兼 絆プロジェクト リーダー

栗原 邦夫

2013年 3月15日



笑顔で結ぶ。人を、日本を。

キリン絆プロジェクト ビデオ

仙台工場の被災と復興

キリンビール仙台工場の被災と復興

- 3月11日の東日本大震災により、キリンビール仙台工場は大きな被害を受けた。
- 被災地の復興に寄与するために、早期生産再開に向けて準備を進めた。



麒麟ビール仙台工場の被災と復興

- 4月7日記者会見(仙台)で再建を表明。地震・津波から200日目の9月26日に仕込再開。
- 11月2日に東北のお客様に向けて出荷再開。(缶、樽)
- 最初の製品は、岩手県遠野市のホップを使った「一番搾り とれたてホップ生ビール」。
- 11月3日に工場見学、レストランを再開。
- 2012年2月中旬に壘ラインを復旧し、ほぼ復旧作業が完了。

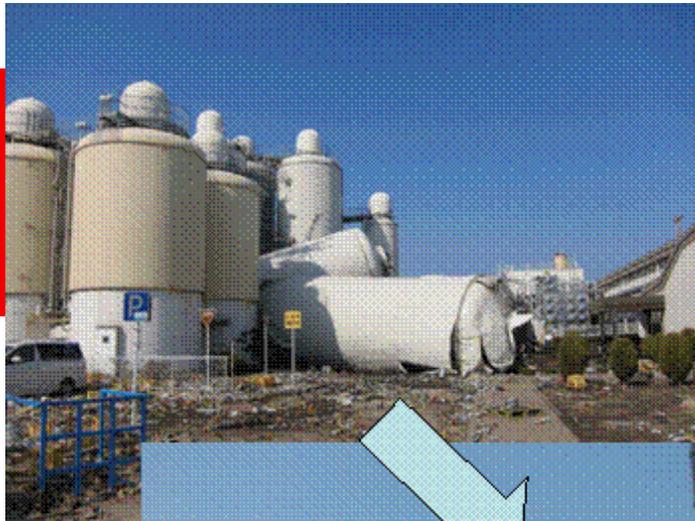


復旧作業

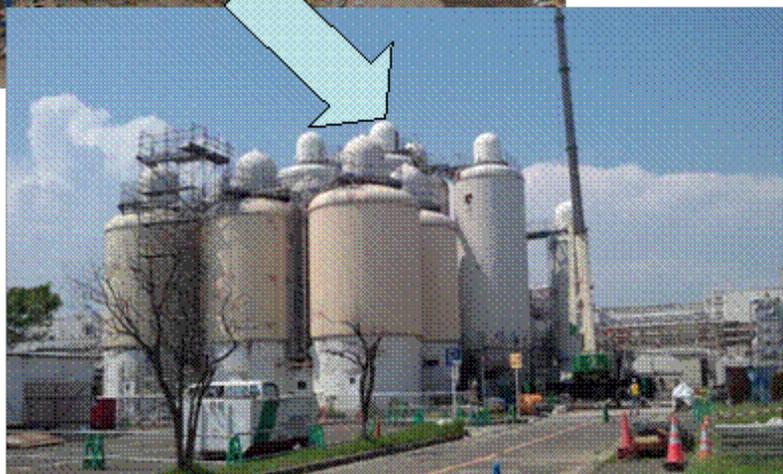


麒麟ビール仙台工場の被災と復興

今後は、東北地方のお客様との「絆」や「日頃のご愛飲」に対する感謝の気持ちをこめた、**地域密着の取り組み**を更に推進し、東北の復興に貢献していきます。



震災直後

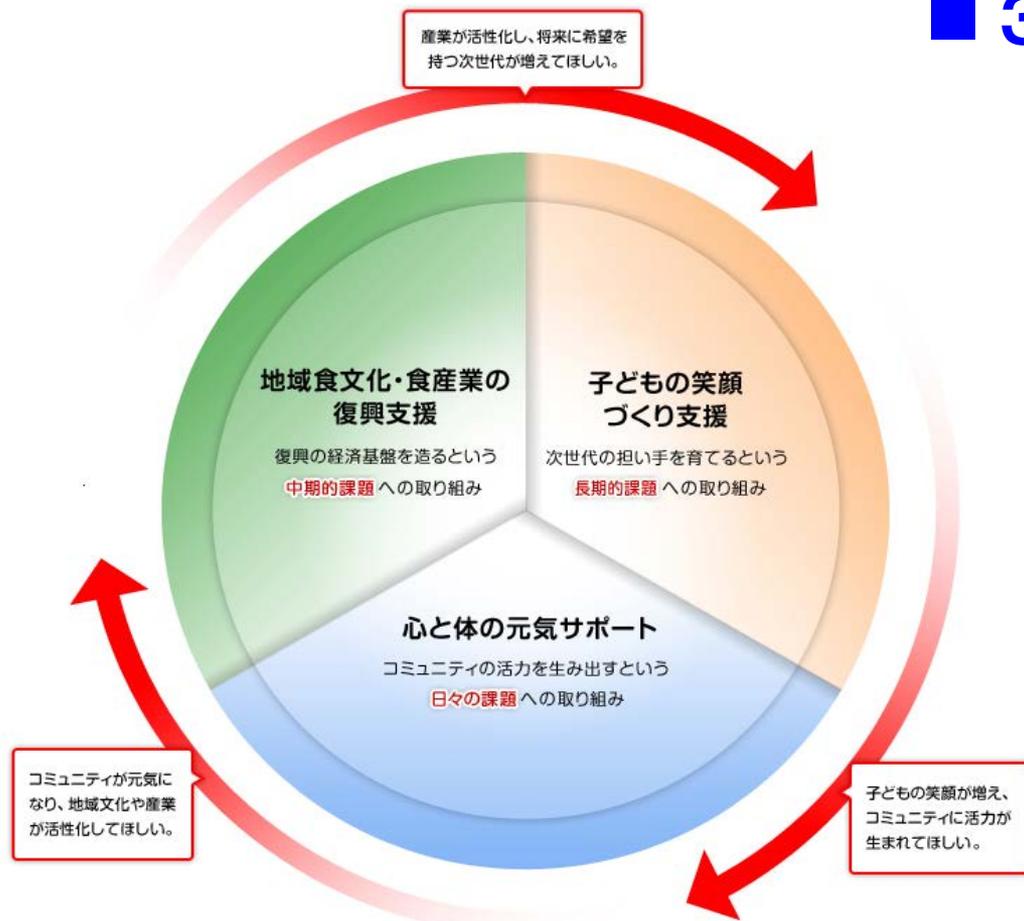


復旧後



2011年11月2日出荷式の様子

■ 3つの幹に基づく取り組み



- キリングループは、グループをあげて復興支援に継続的に取り組むべく、「復興応援 キリン絆プロジェクト」を立ち上げ、3年間で約60億円を拠出し、活動を進めています。
- 被災地のみなさまと一緒に復興に取り組みたい、との思いから、「絆を育む」をテーマに、被災地の“地域社会の絆”や“家族の絆”を一層深めていただけるよう、3つの幹で復興支援活動を行っていきます。
- この活動を通じて産業が活性化し、将来に希望を持つ子供達が増えて、コミュニティに元気が広がり、地域全体が活性化していくことを願っています。

キリンならではの「農業・水産業の復興支援」

おいさを笑顔に

KIRIN

キリングroupが掲げている経営理念、“キリングroupは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げていきます”に基づき、以下の考え方で支援活動を行います。

◇「食」に携わる企業として、「生産」から始まり、最終的にはお客様の笑顔に繋がる「食卓」までを支援し、絆を育み、地域の活性化に取り組めます。

～ 「生産から食卓までの支援」 ～

◇次世代の育成も念頭に置き、復興の過程の中で、新たな農業・水産業のかたちにつながるような、チャレンジの観点を入れた支援とします。

◇「品質本位」を掲げる企業として「食の安全・安心」へ貢献できる支援を行います。



「農業・水産業の復興支援」活動状況

おいさを笑顔に

KIRIN

“生産から食卓までの支援”をテーマとした農業や水産業に対する支援活動を、岩手県、宮城県、福島県の3県に、継続実施中。

◇**農業**では2011年12月「公益社団法人日本フィランソロピー協会」に4億円を拠出。営農再開に向けて、農業機械資金支援「**東北『復耕』サポート**」を実施し、JAグループと連携して農業機械の購入資金を助成。

◇**水産業**では**養殖業の復旧**に取り組み、2011年12月に「公益財団法人日本財団」に4億円を拠出し、各県の漁業協同組合連合会などを通じて、被災した養殖施設の建設費等を助成。（岩手県：わかめ 宮城県：牡蠣 福島県：青のり）

◇**東北大学**「菜の花プロジェクト」や、**岩手大学**「水産物高付加価値化プロジェクト」、**福島大学**「ふくしま復興塾」にも支援。



「生産から食卓までの支援」実現！ 気仙沼茶豆をキリンシティで販売

農業機械を支援した南三陸農業協同組合 ◆オリジナルメニュー



が生産した「**気仙沼茶豆**」を支援した
“枝豆ハーベスター”で収穫し、今年9月
キリンシティ全国38店舗で販売。

計 5,921食 (592kg) を販売

お客様からも、
“甘みがあって美味しい。
とうもろこしみたい”と
高評価。



JA南三陸に支援した 枝豆ハーベスター



復興応援
キリン絆プロジェクト

気仙沼茶豆

農地の復興に取り組んで2年目
見事に収穫！

震災で大きな被害を受け、復活できるかどうか心配な部分もありましたが、
郡に収穫することが出来ました！コクと甘味がギュッとつまった気仙沼
茶豆の味わってください」と誇ってくれた生産者の佐藤英夫さん（左）
さんをはじめ、生産者の方々が大事に育てた枝豆を、大塚に提供させて頂き
ました」と、気仙沼茶豆のバトンを受け取る弊社社員・佐藤成希。

長成中頃の茶豆畑。風に茶豆の揺りが
ふわりと舞ってきます。

太陽の光をたっぷり浴びて、手塩にかけた
茶豆が美味しくなりました！

ハーベクターで収穫し、キリンシティに向けて
いよいよ出荷！

復興応援
キリン
絆プロジェクト

笑顔で飲む、人々、日本を。

キリングループは、東日本大震災の復興支援活動
として、2011年に「復興応援 キリン絆プロ
ジェクト」を立ち上げました。「絆を育む」をテーマに、グループ各社が一体となって展開しています。

取組みの一つである「地域食文化・食産業の復興
支援」では、食に携わる企業として復興に貢献し
たいという思いから、被災地の営業再開に向け、
南三陸農業協同組合に対し、農業機械70台分を
助成しました。

このたび、南三陸農業協同組合と連携し、復活し
た気仙沼茶豆を地域ブランドにするため、気仙沼
茶豆を全国に広める活動を支援していきます。

ご賞味ください！ 気仙沼茶豆

旬の枝豆を茹で上げて

気仙沼茶豆 ¥530

農業系高校生の就学支援 ～奨学金の支給～

岩手、宮城、福島の県立の農業系高校生へ返還義務のない奨学金を支給し、東北の農業の将来を担う高校生の皆さんの就学を支援。

◇2011年度は計12校、598名を支援。

◇2012年は新たに確認が取れた被災状況に伴い、支援対象を拡大し計20校、662名を支援。

※主に岩手・宮城は地震・津波の被害、福島は警戒区域による被害。

※県立高校の授業料は無償だが、農業実習費や通学費、資格取得費など、生徒が安心して学業に集中できる環境づくりに役立っていると評価されている。



福島県双葉翔陽高校
奨学金贈呈式



宮城県石巻北高校
稲刈りに参加



岩手県久慈東高校
受給生との面談

1978年にスタートした、日本サッカー協会（JFA）との34年間のつながりから、震災後に子どもたちに、サッカーを通じて笑顔になってもらいたいとの想いで、JFAと共に岩手県・宮城県・福島県の3県の小学校を対象に、巡回によるサッカー教室を開催中。

元サッカー日本代表選手がコーチとなり、サッカー教室を開催。ボールやゴールなどの備品も寄贈。（2013年3月4日現在：400校の小学生61,610名が参加）

■実施風景



日本代表 香川選手

元日本代表 城選手

■参加者個人への記念品



■参加小学校単位への贈呈セット(5アイテム)

「絆ボランティア」と「麒麟絆募金」について

グループ全体の取り組みとして、昨年から、「ボランティアと募金」の活動を実施中。

1. ボランティア活動:

- ◇2011年7月～11月まで、現地の要請に応じて、民家や住宅街での泥出し作業、漁業に関連した復興支援活動を行った。キリングroup全体で22班、約180名が参加し活動。
- ◇2012年5月～12月まで、現地の要請に応じて、漁業に関連した復興支援活動を行った。キリングroup全体で26班、約371名が参加し活動を行っている。



2. 募金活動:

- ◇2011年度の「麒麟絆募金」では約4,200名が参加し、約2,500万円の募金が、「麒麟SCJ絆奨学金」に寄付された。
- ◇2012年度は1,570名が参加し1,370万円をかき養殖事業復旧のために贈呈。



「キリン絆プロジェクト」の具体的活動

おいしさを笑顔に

KIRIN

■ 農業復興支援

・「東北『復興』サポートして被災3県に376台の農業機械をお届けしました。



■ 水産業復興支援

・被災3県の基幹となっている養殖業ハード支援
(宮城:かき、岩手:わかめ、福島:青のり)



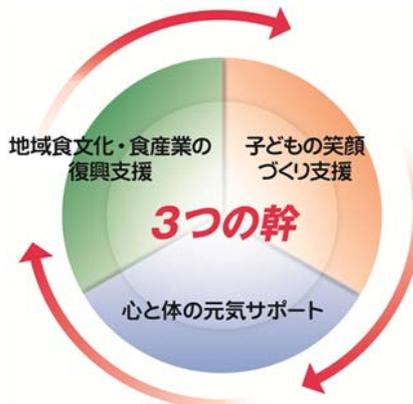
■ 子どもの笑顔作り支援

・被災3県の662名(20校)の農業関連高校生に返還義務のない奨学金(月3万円)を支給しています。



■ JFAキリンスマイルフィールド

・2013年1月まで359校55,629名の小学生が参加。



■ 卓球教室

・被災3県の小中高生を対象に、卓球教室を開催しています。2012年12月まで、15会場で約3,800名が参加。
・福島県では、仮設住宅等で、ふれあい卓球や卓球台の寄贈も行っています。



- ・ 2013年からは、**復興支援第2ステージ**として、**“生産から食卓までの支援”**というテーマのもと、
- ・ 下記内容を中心に、今後展開していきます。

■第2ステージの内容

- (1) 農作物・水産物の地域ブランド再生・育成支援
- (2) 6次産業化※の推進・販路拡大支援
- (3) 将来にわたる担い手・リーダー育成支援

※ 農業・水産業が、1次産業に留まらず、それを加工し販売するところまで視野に入れた事業展開により、農業・水産業の活性化に繋げること。

1次産業(農業・水産業) × 2次産業(加工) × 3次産業(流通) = 6次産業。

～東北から始まるニッポンの未来のカたち～
東北復興・農業トレーニングセンタープロジェクト

「将来にわたる農業の担い手・リーダー育成」推進のための支援プロジェクト。

【ミッション】

【プロジェクトの目指すところ】

- ①「真の農業経営者」を目指せる『**場**』を創る。
- ②「真の農業経営者」を目指せる『**仕組み**』を創る。

※「真の農業経営者」とは...

- ①自分の意思で経営ができる人
- ②地域を農業を核としてプロデュースできる人

【カリキュラム】

①農業経営者リーダーズネットワークin東北

【農業経営者リーダー】 (@東北大学)

【対象者】

- ・岩手・宮城・福島の農業法人経営者又は経営に携わる方
- ・新しい農業のカたちを創り、他産業と連携しようとする意識の高い方



②復興プロデューサーカリキュラムin東京

【復興プロデューサー】 (@丸の内)

【対象者】

- ・地域活性に興味がある方
- ・農業ビジネスに興味がある方
- ・東北復興に興味があるビジネスマン
- ・東京にいる地方行政マン

相互連携

両者をつなげる場として

ソーシャルメディアのプラットフォーム

【出口戦略】

ニーズ提案型商品開発 6次産業化 地域ブランディング レストラン経営... etc

【アウトプット】

▶ 被災地域の活性化

▶ 新しい“地域の農業ビジネスモデル”の創出

まとめ

キリングループは、東日本大震災にグループを挙げて
継続的に取り組むべく、「**復興応援 キリン絆プロジェクト**」
のもと、支援活動を進めてまいります。

このプロジェクトでは、自然にかかわるものづくりの礎、
そのものづくりを支える次世代の夢、これらを支える毎日
の健康で幸せな暮らしの源を支援したいと考えています。

ご清聴ありがとうございました。

おいしさを笑顔に

KIRIN